

日時：令和8年2月19日（木） 14：00～16：00

場所：大阪府立東住吉総合高等学校 TRYルーム

1 開会

2 学校長挨拶

3 出席委員紹介

・森ノ宮医療大学 顧問	雑賀 文彦 委員	
・大阪市立摂陽中学校 校長	柿花 正信 委員	
・喜連西地域活動協議会 会長	鳶谷 勉 委員	
・陽親会 理事	宮崎 日和 委員	
・大阪府立東住吉総合高等学校 P T A会長	前田 かおり 委員	計5名

4 報告

(1) 令和7年度 学校教育自己診断結果について

学校教育自己診断アンケートの生徒、保護者、教職員のアンケート回収率が前年度と比較し、増加している。

アンケート結果より、部活動や生徒会の様々な取組み拡大により、生徒が主体的に活動を行うことができている。また、教職員間の連携についての肯定的回答が大幅に向上した。さらに、進路指導の充実により、生徒がより良い進路実現ができていると考えられる。地域連携の項目については一部の教職員に業務が偏っているため、学校内での改善が必要である。

(2) 令和7年度 学校経営計画達成状況

学校紹介就職の一次内定率は91%と高い水準となっており、進路指導の目標は達成できている。しかし、4年制大学の合格者が減少していることに関しては原因を追究し、目標数値を変更する必要があると考える。学校生活では、生徒の遅刻件数が目標の数値を超過しているため、対策が必要である。また、生徒の部活動の加入率が低いとため、加入率を向上させる取組みが急務である。学校説明会に関しては、参加者が減少しているため、開催時期や内容について再検討を行う。

学校教育自己診断アンケートの授業項目「学校は1人1台端末を効果的に活用できている」の生徒回答で肯定率が増加している。この理由として、各教員が工夫した授業を行っていることが挙げられる。

(3) 令和8年度 学校経営計画

確かな学力の育成、主体的・対話的で深い学びの実現をめざし、令和10年度までに卒業生の25%以上が4年制大学に進学できるようにする。また、入試の特色枠が設定される令和10年度入試以降に教育課程を見直す予定である。今後、グローバル化や情報化が早いスピードで発展していく中で、今年度に連携協定を結んだ台湾の高級学校との姉妹校連携を活用し、英語能力の育成をめざす。各教職員間、各分掌間の連携をより向上していくための対策を考える。

教職員の時間外労働時間が1人あたり年間720時間以内になる教職員の数をゼロにするために学校運営の工夫を継続的に実施する。

(4) 保護者からの意見書提出状況

令和8年度2月19日現在、報告書の提出はなし。

(5) 各部署より報告

- ①教務部
- ②生徒指導部
- ③生徒会
- ④進路指導部
- ⑤保健指導部
- ⑥人権教育推進委員会
- ⑥総務部
- ⑦システム管理部
- ⑧3年次
- ⑨2年次
- ⑩1年次
- ⑪授業充実チーム

5 委員からの助言

- ・学校教育自己診断の結果で生徒、保護者ともに肯定的回答が増加しているので引き続き、現在行っている取組みを継続してほしい。
- ・地域が主催するサマーキャンプや地域清掃活動などに積極的に参加してほしい。その一つとして、近隣の公園で2か月に1度、地域清掃活動を実施しているので、参加してほしい。
- ・近隣の老人ホームで入居者と生徒との「ふれあい」を目的とした取組みを実施してほしい。
- ・生徒登校時の交通マナーや交通安全意識について、生徒への対応を考えてほしい。
- ・学校内外の取組みについて、外部の人間が把握する手段が少ないため、SNSなどを活用するなどより良い形で伝えられるような方法を考えてほしい。

6 閉会